



俳句

(2025)



目次

たべもの俳句	モノロク俳句	徒然俳句
10 ↳	5 ↳	1 ↳

「睦月」とは、仲睦まじい月を意味しています。新年を迎え、家族や親類知人が往来し、仲睦まじくすることに由来します。そのほか、「生月（うむつき）」、稲の実をはじめて水に浸す月で「実月（むつき）」が転じたという説もあります。

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巢鴨とげぬき徒然俳句
<https://blog-haiku.777usami.com>

元日の満員御礼冷蔵庫
初春に老若男女スキンケア
宝船七福神もマスクかな

四日はや一年の計忘れけり
宅急便愛想がよくて初御空
初空や地藏通りの赤パンツ

長生きに年金獲得初手水
太鼓打つ静寂もあり淑気かな
淑気なし正月特番笑点に

出初式どこかの異国風物詩
日の丸はやはり日の丸冬朝日
極道のごとき争い白鳥や

無添加の男になりたい冬うらら
平凡に平和にすごし息白し



都会人津軽の吹雪懂れて
吹雪く夜韓国ドラマ延々と

風花やグリーングールドつぶやきも
風花やリップクリーム塗れという

転がって冬のレモンの二つ三つ

放心の冬の金魚と夜話を

冬に舞うホタルのごとき『雪ほたる』

曇り窓ストーブほのを闇深し

大寒やダイオウイカも浮かび来る

鯨飛ぶ潜水艦が飛ぶごとく

ご褒美は幻となり冬の虹

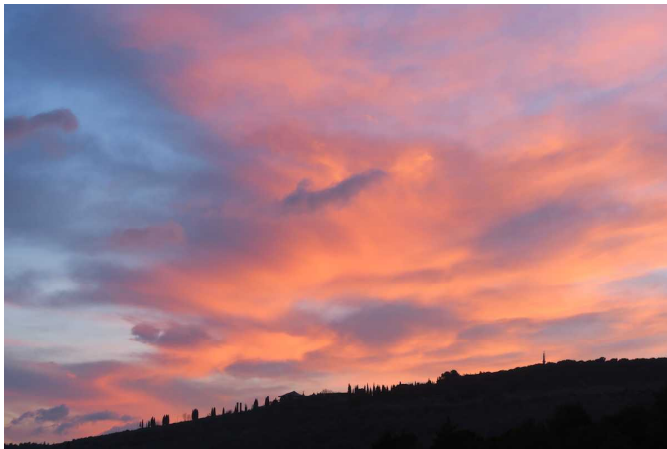
冬籠宅配つく日は落ちつかず

朝散歩だまって歩く寒日和



鬼怖く人も怖くて冬の闇
△は加速度的に冬の闇

日脚伸ぶ再開発はとどめなし
冬夕焼け薄明光線瀬戸の橋
冬夕焼けなぜか童謡つぶやいて
春を待つ思いの丈の庭の鉢





モーロク俳句

モーロクし顔も浮かばぬ賀状かな
 モーロクし想像家族お正月
 モーロクし自分勝手にお正月
 モーロクしされど肥満に初湯かな
 モーロクし足をいたわる初湯かな
 永遠に独楽はは回るかモーロクス
 モーロクし平和日本寝正月
 モーロクし生きるがままの初灯り
 初あかりモーロクスれど命あり
 初鏡モーロク心写しけり
 初春と思えば初春モーロクス
 葉ボタンの渦に巻かれてモーロクス



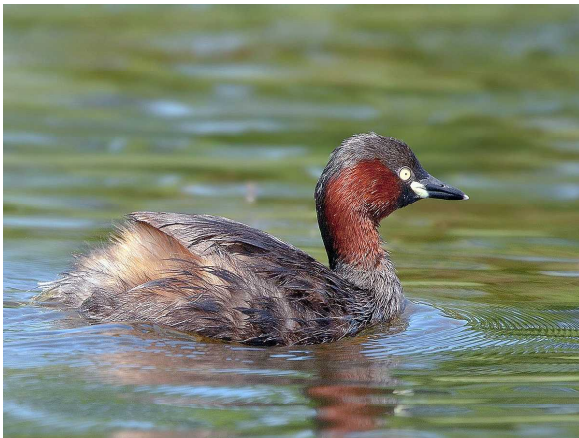
人日やモロクすれば別なひと
鏡餅モロクすればひび割れて
モロクし処分に困る鏡餅

モロクし赤恥過去に日向ぼこ
日向ぼこモロクすれど絵本読む

モロクし我いたわりし冬苺
モロクしぶつぶつとかいつぶり
仏の座モロク少し落ち着いて

モロクし木々に雪あり雪雪と
雪や雪雪に隠れてモロクす
雪の日は血圧高しモロクす
モロクし死後の景など雪野原

モロクし骨軋ませて雪は降る
モロクし脳細胞に雪が降る



モーロクし赦されて行く雪が降る
雪おんな吹雪く夜の山モーロクす
モーロクし夢見心地や雪兎
モーロクし記憶断片風花す
モーロクしできそこないに風花や
風花が散る散る吾はモーロク
風花や吾はモーロク骨の髄

モーロクしめげずめげない枯尾花
モーロクしめげずめげない枯尾花

ごろごろと我はモーロク炬燵猫

モーロクし置物ごとく初大師

モーロクしすべて遠火事ごとくなり

モーロクし目鼻くもらし牡蠣啜る
正露丸モーロクすれば冬の晴れ



寒椿モーロク進み従わず
自販機のホツトコーヒー冬深し
冬ぬくし老人性鬱モーロクす

冬の蠅吾はモーロク吾の陰
憎まれてそしてモーロク冬の蠅

日脚伸ぶ励むにあらずモーロクし
モーロクし地獄絵恐し月冴ゆる

モーロクし三寒四温の端境期
モーロクし人参嫌い世も嫌い

寒夜覚むトイレに通うモーロクし
着ぶくれて強がり言えずモーロクす
誘われて冬よ冬よとモーロクす





たべもの俳句

雑煮食ふ悪戦苦闘の入れ歯かな

二日はやおせちに飽きてラーメンを
はや三日レトルトカレー出番なり
四日はや白めし味噌汁定番で

生姜湯でカラダココロにパワー満つ
王道のブリの照り焼きおろし添え
人日やぶっかけうどんお昼かな

蒸し焼きにかぶと豚肉夕ご飯
甘いかぶとろりと煮込む豚肉と
蕪つぶしコトコト煮込みポタージュに

こんにやくのピリ辛炒め去年今年



切り餅で餅のガレットやみつきに

寒蛭破顔一笑お味噌汁
冬晴れやだしをきかせて卵焼き

牡蠣小屋は焼かれて爆ぜる修羅場なり
牡蠣御飯ジャズとワインの夕餉かな
クリーミーソースぴったり牡蠣シチュー
牡蠣とにらのつけ舌焼くラーメンを

副菜に大豆とにんじん甘辛に
新海苔で手巻き寿司など誕生日

初大師やはり屋台の焼きそばを
冷え込んでトマトパスタを鍋焼きで
土鍋なら熱々パスタ外は雪

冴ゆる夜にみそアヒージョで舌を焼き



こつてりと大根みそ煮厚揚げと

辛ラーメンもやしどっさり外は雪
はんぺんをみそマヨ焼きに熱爛で

しばれる日豚汁二杯の夕餉かな
お好み焼き刻み刻んだ冬キャベツ

フライパンぶりの簡単南蛮漬け
春近しもち明太のトーストで





